

令和5年第4回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和5年3月23日（木）

II 会議時間

開会時間：14時00分

閉会時間：15時25分

III 出席委員

教育長 妹尾 均

教育長職代理者 太宰 実千代

委員 加藤 正枝

委員 三宅 英次

委員 二宮 崇

IV 欠席委員

V 説明のため出席した職員

教育次長 小崎 隆

教育総務課長 山内 祐樹

就学前教育課長 渡邊 まり子

学校教育課長 的場 佳代

社会教育課長 寶藏 光辰

（書記）清山 智保

VI 会議内容

1 開 会

2 前回会議録の承認

（1）令和5年第3回教育委員会会議（令和5年2月21日）の議決事項等について

教育長の報告：なし

議 事：議案第1号玉野市教育振興基本計画案（総合計画分野別計画）について
他5件

協 議：「岡山市に準じた特別委託料及び障害児手当の支払いについての陳情書」
に対する対応について

報 告：図書館特別整理（曝書）に係る休館日について 他1件

（承認）

3 教育長の報告

4 議 事

(1) 議案第8号 玉野市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部改正について

(教育総務課長) 資料により説明

(三宅委員) 文化振興とスポーツ振興の係が別になった理由は何か。

(社会教育課長) 元々は、中央公民館が文化振興業務を担っており、スポーツ振興業務を社会教育課が担っていた。一緒の係となったが、異質なものがくっついて一緒になっていたため、分けようということになった。また、総合計画の中で、市民会館等の建設を検討するという項目が掲げられており、その業務を文化振興係の中で担っていくことになったからである。

(2) 議案第9号 玉野市教育委員会公印規則の一部改正について

(教育総務課長) 資料により説明

(3) 議案第10号 玉野市教育委員会職員の年齢60年以上退職者等の定年前再任用に関する規程の制定について

(教育総務課長) 資料により説明

(太宰委員) 「年齢60年以上」という表現は、行政用語なのか。

(教育総務課長) 市職員の規程と合わせた表現としている。国の規程も同じである。

(4) 議案第11号 玉野市教育委員会職員の暫定再任用に関する規程の制定について

(教育総務課長) 資料により説明

(5) 議案第12号 玉野市教育委員会のセクシュアル・ハラスメントの防止等に関する要綱等の一部改正について

(教育総務課長) 資料により説明

(太宰委員) 要件に合致していない期間はどの程度だったのか。

(教育総務課長) 令和3年度にこの要綱は制定しているが、それ以降のことになる。どのタイミングで要件を満たさなくなったのかは不明である。

(6) 議案第13号 玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規則の一部改正について

(学校教育課長) 資料により説明

(加藤委員) ここまで細かく規定したのはなぜか。

(学校教育課長) 実態に応じて規定したものである。

(加藤委員) 余りに細かく規定してしまうと、それに合致しないケースが出てきたときに融通が利かなくなるのではないか。

(学校教育課長) 今のところは、この規定で対応できると考えている。新たなケースが出てきた場合は、それに合わせて改正していく。

(二宮委員) 運用が変わったということではなく、今までの運用を明記したという解釈でよいか。

(学校教育課長) そのとおりである。

(7) 議案第14号 玉野市立公民館自動体外式除細動器 (A E D) 貸出要綱の廃止について

(社会教育課長) 資料により説明

貸し出すことによって、設置している公民館で本来の使用ができなくなることで、制定当初と比べ、A E Dを設置している施設も増えていること等の理由から役割が終わったと考え、本要綱を廃止するものである。

5 協 議

(1) 玉野市認定こども園に関する条例施行規則及び玉野市立保育所管理規則の一部を改正する規則について

(就学前教育課長) 資料により説明

(加藤委員) 保育人数が少なくなることで、待機児童が増えるということがない範囲での変更という解釈でよいか。

(就学前教育課長) 利用定員の見直しは、過去3年間の利用数の実績等を考慮し、実績に近い人数になるように見直している。最近では待機児童はあまり出ることがない。

(加藤委員) 「待機児童があまり出ることがない」、ではなく「待機児童はない」としてもらいたいと切に願っている。

(就学前教育課長) 職員配置についても、なるべく体制が整うよう配置を考えている。この4月も昨年度も待機児童は0人である。

(加藤委員) 少子化が進んでいるとはいえ、保育園・認定こども園の需要が高まっている中で、その人数を減らさなければならぬほど、住民が減ってきている玉野市の未来に少々不安を感じた。

- (妹尾教育長) 利用定員が減ると職員も減るのか。
- (就学前教育課長) 状況に合わせて職員を配置している。不足がないようにしている。
- (加藤委員) 預けることができるかどうかは、働く保護者のためにもとても大切なことである。慎重に、かつ玉野は待機児童がなく働きやすい環境を継続し続けてもらえたら、玉野で働きたいと思う人も増えてくるのではないかと思う。市内企業の経済活動も活発になってくるし、働きたい人の力にもなると思う。

6 報 告

(1) 適正規模・適正配置検討委員会第3回会議について

- (教育総務課長) 資料により説明

(2) 令和4年度末人事異動について（会議は非公開であったが、現時点で公表されている内容であるため会議録を公開する。）

- (教育総務課長) 資料により説明
- (就学前教育課長) 資料により説明
- (学校教育課長) 資料により説明
- 学校関係は、3月24日午前9時までは非公開である。取り扱いには注意してほしい。

7 その他

(1) 令和5年4月／5月

- (教育総務課長) 資料により説明

(2) 生理用品の設置について

- (学校教育課長) 生理用品の設置を来年度中学校1校で試行する。
- (太宰委員) どの学校で実施するのか。
- (学校教育課長) 荘内中学校である。

(3) 「おさらい会」におけるスタッフの呼称について 他

- (社会教育課長) おさらい会のスタッフの呼称について確認したところ、ほとんどのところが「先生」と呼ばれているようだ。ある楽級ではニックネームで呼ばれているところがあった。もう1つの楽級ではケースバイケースで「先生」と呼ばれたり、名前で呼ばれたりしているようで

ある。先生と呼ばれることに違和感を持たれている方はいないようである。楽級や会の中で決めてもらえばよいと思っている。教育委員会としては、どう呼んでくださいとはいいいにくい。

(太宰委員)

私は違和感を持っていることもあり、ニックネームで呼ばれて、子どもたちと一緒に勉強をしてきた。何の違和感もない方もいれば、私のように「先生」と呼ばれることに違和感を持つ人もいる。どれがよくてどれが悪いということではなく、こんな意見もあるということを知ってもらえてよかったと思っている。ニックネームで呼ばれるのは非常によかった。

(加藤委員)

太宰委員が意見をいわれるまで、私は違和感を持っていなかった。そういう意見を聞いた後でおさらい会を見学したとき、学校と何も変わらないなと思いながら見ていた。もう少し気持ちを変えた方が、素直に子どもたちの中に勉強が降りてくるのではないかという思いを持った。太宰委員が「子どもたちと一緒に勉強をしてきた」といわれた。そういう心持ちがあるからこそ、子どもと同じ目線で一緒に考えていくことができていたのだと思う。「先生」というと、上下の関係ができ、教員OBの方も先生のままの意識であれば、おさらい会が学校の続きになってしまうと感じた。呼称については、広い意味でこれからも考えていき、同じレベルに立って

子どもたちのわからないところと一緒に解決してあげるおさらい会であってほしい。

(加藤委員)

子ども楽級に推薦したいスキルを持っている人がいるが、どうやったら紹介したり、参加できたりするのかわからない。どこへ連絡すればよいか明確にできないか。

(社会教育課長)

公民館で調整している。宇野・築港は社会教育課で調整している。具体的にそういう方がいれば、社会教育課から紹介することはできる。

(妹尾教育長)

広報やチラシなどで募集することはないのか。

(社会教育課長)

各公民館で調整しているため、どちらかといえば、紹介してもらって、社会教育課から各公民館へ情報提供した方がよいと考える。

(加藤委員)

ホームページや広報たまのをもう少し充実させて、楽な方法で事務局へ情報が集まるようにするようになれば、教育委員会や子どもたちにとってプラスとなる。今後の課題として取り組んでほしい。

次回、教育委員会定例会は令和5年4月6日（木）10：00から開催するので参集願う。以上で、令和5年第4回教育委員会を閉会する。

会議録調整者 書記 清山 智保

会議録署名委員 教育長 多田 一也

教育長職務代理者 三宅 英次